

令和3年7月

北海道中学校陸上競技大会
参加選手保護者の皆様

北海道中学校体育連盟
陸上競技専門委員長 佐藤 光 司

第52回北海道中学校陸上競技大会開催にかかわるお願い

お子様の全道大会出場おめでとうございます。地区代表として健闘を期待します。

さて、標記大会は新型コロナウイルス感染症が収まらない中での開催となり、北海道中体連や大会事務局では様々な感染防止対策を講じながら、【陸上界からクラスターを発生させない】を合言葉に準備を進めています。

その中で、大会開催期間については次のような対策がとられます。

1. 「無観客」開催とする。(北海道中体連の全競技統一された事項です。)
2. 選手および関係者は、2週間の健康管理表と行動履歴書を提出する。
3. 審判員および選手に同行する事前に届け出をした監督、外部指導者はIDの着用が義務づけられ、これ以外の者は競技場内に入れない。ただし、監督、外部指導者については、自校の生徒の出場時のみ、芝生スタンドへの入場を許可する。選手の観戦については、メインスタンドと芝生スタンドとするが、長居を避けさせさせる。
4. 各学校のテントは競技場内の芝生スタンドではなく、競技場周辺に設営する。

このような状況のため、いくつかの地区大会で見られた競技場外側からのフェンス越しの観戦は難しい状況になります。

残念にも中止となった昨年の中体連、多くの生徒はもちろんご家族も悔しい思いをしたと思います。私たち関係者もぶつける場所のない感情を必死に抑えました。そして、今年、未だ感染の終息には至っていませんが、何とか開催できそうな状況にあります。そのためには、心苦しいのですが、いつかの無理なお願いをしなくてはなりません。競技場で必死に手を振る姿、真っ直ぐな瞳、笑顔も泣き顔も、見たい気持ちは当然だと思うのですが、保護者の皆様が帯広に行くことを遠慮していただきたいと思っています。

皆様には以上の内容をご理解いただき、円滑な大会運営にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。